

# 週刊 タバコの正体

前回紹介したアンケートでは、「タバコを吸うのは、かっこ悪い」と感じている人が過半数を占めていましたね。吸う姿がかっこ悪いイメージが増えているという結果なのですが、じつは、タバコを吸い続けると、実際の容姿もかっこ悪くなってしまおうのを知っていますか。



MedicineNet.com から

写真に映っている2人は双子です。左(A)の人はタバコを吸っていないのに対し、右(B)の人は、14年間毎日タバコを吸い続けていました。

2人のおでこを見比べて下さい。右(B)の喫煙者のおでこには深いしわが多く見られます。さらに、目の下の皮膚がたるんでいるのもわかるでしょうか。

タバコの煙に含まれるニコチンは、血管を収縮させ血行を悪くさせます。この影響で皮膚の温度が低下し新陳代謝が悪くなり皮膚の働きが衰えます。すると結果的に顔の“しわ”、“たるみ”、“くすみ”、“かさつき”が増えてしまうわけです。しわやたるみが増えると実際の年齢より老けて見られ、かっこいいとは言えませんよね。タバコのせいで老けて見える顔は「スモーカーズフェイス」と呼ばれています。

一旦タバコを吸い始め、ニコチン依存症になってしまうと、まわりの人に「かっこ悪い」と思われながらも、やめられずに吸い続けていると、今度は容姿までもかっこ悪くなってしまおうという悪循環におちいります。

現在の和工生は、一生タバコを吸わないつもりの人ばかりなので、この悪循環に陥る人は少ないでしょうが、「タバコを吸うのは、かっこ悪い」だけではなく「タバコを吸うと、かっこ悪くなる」ことも知っておいて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久